

企業の社会貢献活動に関するアンケート調査について（説明資料）

1 目的

「プロボノ、シニアの社会貢献活動参加支援事業」の実施に当たり、県内企業の社会貢献活動の状況等を把握することを目的に実施した。

2 実施方法

- (1) 郵送調査法
- (2) 調査サンプル数 県内に本社のある従業員100人以上の企業106社
- (3) 調査期間 平成29年10月～11月

3 アンケートの回収結果

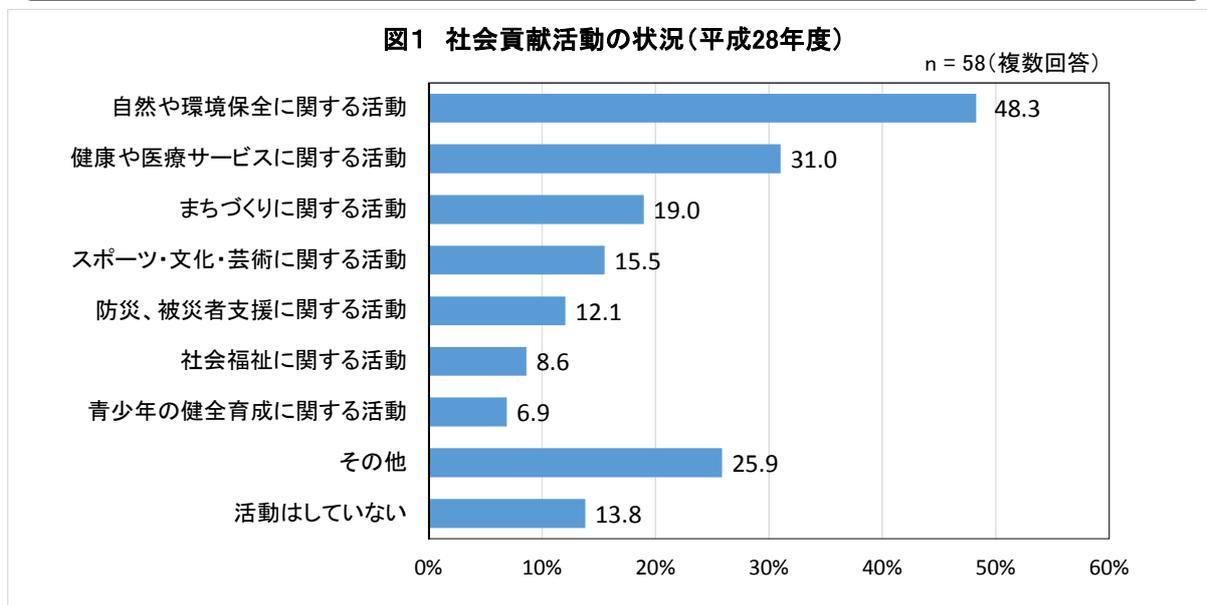
- (1) 有効回収数58
- (2) 有効回答率54.7%
- (3) 回答者属性

業種	対象数	割合(%)
サービス業	13	22.4
卸・小売業	12	20.7
製造業	11	19.0
運輸・通信業	9	15.5
建設業	3	5.2
金融・保険業	2	3.4
その他	8	13.8
合計	58	100.0

4 調査結果

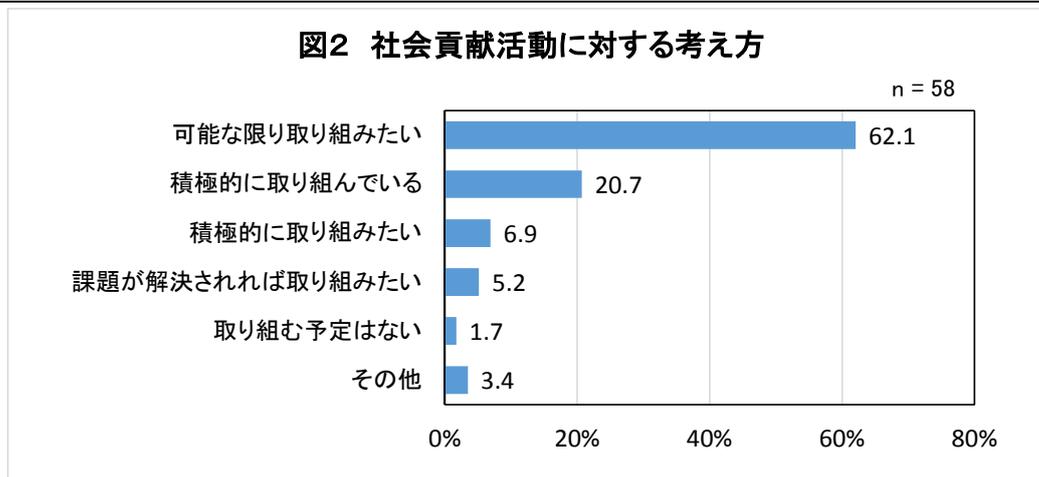
(1) 社会貢献活動の状況（平成28年度）について

86.2%の企業が社会貢献活動に取り組んでおり、その活動内容としては、「自然、環境保全に関する活動」が最も多く、約半数を占めています。（図1）



(2) 社会貢献活動に対する考え方について

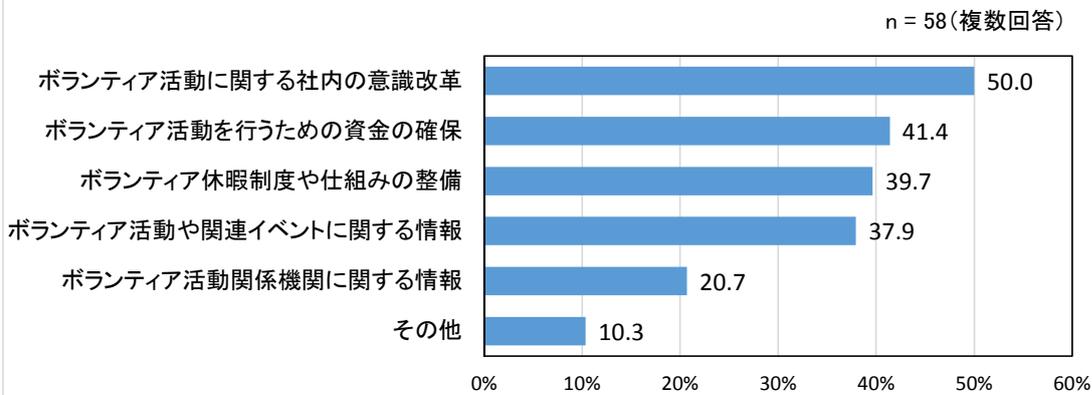
約6割の企業が、社会貢献活動に「可能な限り取り組みたい」と考えています。（図2）



(3) 社会貢献活動を更に進めるために必要な取組等について

5割の企業が、社会貢献活動を更に進めるために「ボランティア活動に関する社内の意識改革」が必要と考えています。(図3)

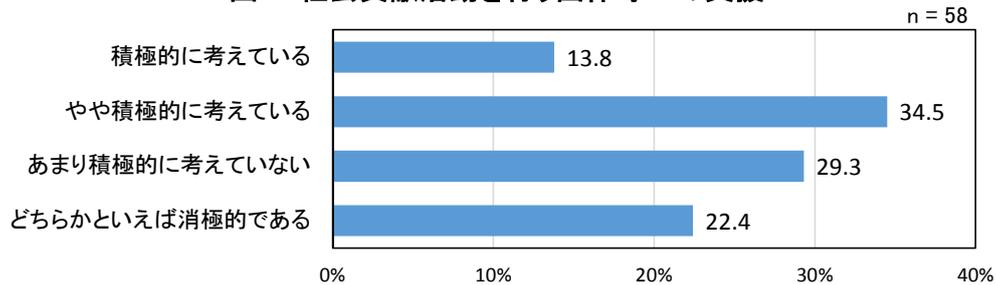
図3 社会貢献活動を更に進めるために必要な取組等



(4) 社会貢献活動を行う団体等への支援について

約5割の事業者が、社会貢献活動を行う団体等への支援について積極的に考えています。(図4)

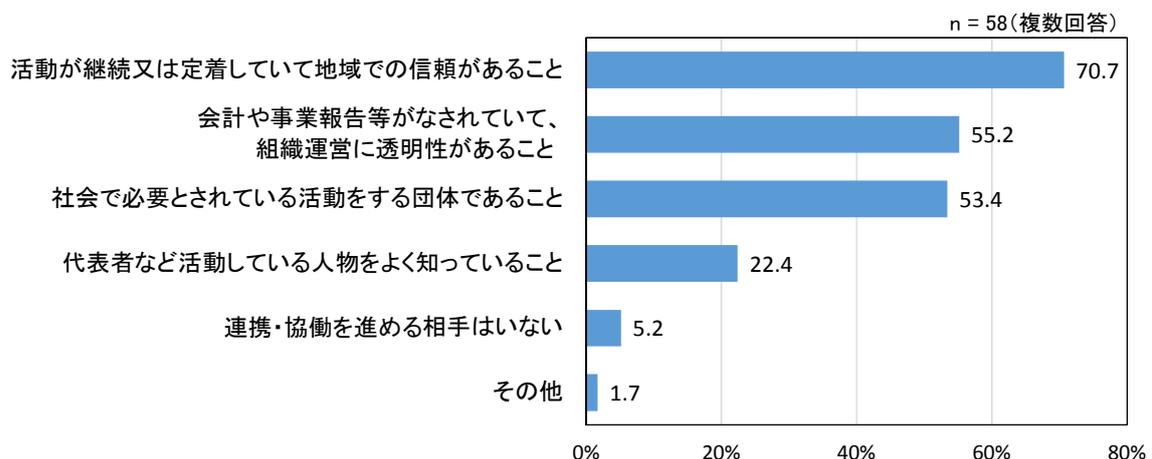
図4 社会貢献活動を行う団体等への支援



(5) NPO等との連携・協働を進める際に相手方の団体等に望むことについて

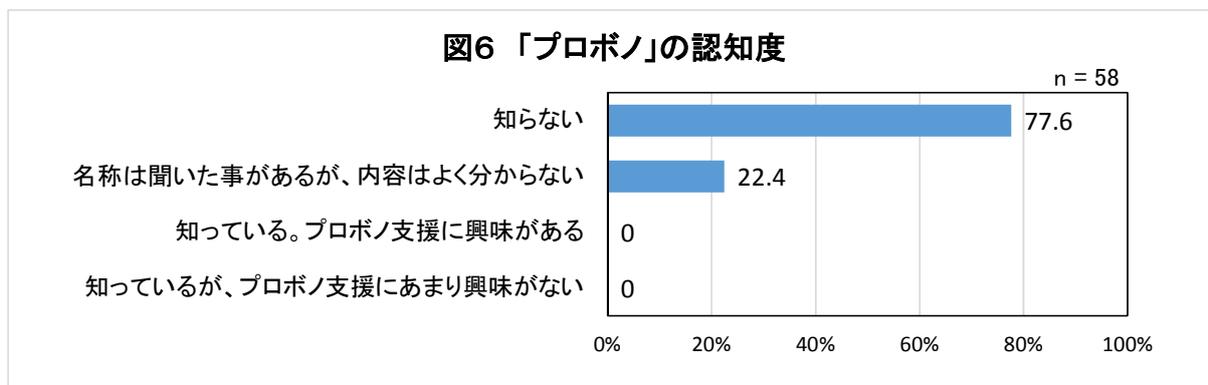
約7割の企業が、連携・協働を進める際に相手方の団体等に「活動が継続又は定着して地域での信頼があること」を望んでいます。(図5)

図5 NPO等との連携・協働を進める際に相手方の団体等に望むこと



(6) 「プロボノ」の認知度について

77.6%の企業が、「プロボノ」を「知らない」と回答し、次に「名称は聞いた事があるが、内容はよく分からない」が22.4%となっています。(図6)



(7) 「プロボノ」に対する考え方について

77.6%の企業が、「プロボノに関する情報が少なく現時点では判断できない」と考えています。

企業の人材育成面等でのメリットもあって言われている「プロボノ」に対する考え方について尋ねたところ、「プロボノに関する情報が少なく現時点では判断できない」が77.6%と最も多く、次に「会社としてのメリットがあれば、プロボノに対する支援・推奨を検討したい」が13.8%となっています。(図7)

